

組織名	公益財団法人東京市町村自治調査会
-----	------------------

1 組織概要

所在地	東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館4階
TEL	042-382-7722
FAX	042-384-6057
URL	http://www.tama-100.or.jp/
e-mail	tama005@tama-100.or.jp
設立	1986年10月1日
設置都市等	東京都多摩・島しょ地域26市5町8村
代表者	長友 貴樹(理事長/調布市長)

2 組織動向

(1) 沿革

設置経緯	<p>○昭和30年代、都市化や山村・島しょ部の過疎化の進行に伴い、市町村間の協力を必要とする問題が浮上したことから、1964年、市町村の共通の事項について協議調整を図るため、「東京都市町村連絡協議会」を設置し、1985年に「東京市町村協議会」に改組し、調査研究機能の充実を図った。</p> <p>○その後、高齢化や情報化・国際化の進展など市町村行政が転換期を迎えるなか、多摩・島しょ地域の市町村は広域的・共通的課題をより体系的に調査研究し、積極的な政策を立案する必要性が生じたことから、1986年10月1日、多摩・島しょ地域の全市町村の総意により、「東京市町村協議会」を解散して「財団法人東京市町村自治調査会」を設立した。</p> <p>○2012年4月1日、公益財団法人に移行した。</p>
見直しの動向	公益財団法人への移行(2012年4月1日)を機に、定款(移行前は寄附行為)における事業内容等の規定を一部見直し
役割(2017年時点)	○市町村の自治の振興を図るとともに、住民福祉の増進に寄与することを目的とした市町村共同の行政シンクタンクとして、調査研究、市町村共同事業の実施、広域的市民活動への支援等を行っている。

(2) 組織体制

設置形態(択一)	<input type="checkbox"/> 自治体の内部組織 <input type="checkbox"/> 常設の任意団体(提言等を行う会議体型の団体も含む) <input checked="" type="checkbox"/> 公益法人(財団法人・社団法人) <input type="checkbox"/> 大学の附置機関 <input type="checkbox"/> 広域連合 <input type="checkbox"/> その他
常勤職員数	16人
うち常勤研究員数	6人
非常勤研究員数	0人
専門性確保に関する特徴(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 専門的な知識を有した研究員の採用 <input checked="" type="checkbox"/> 外部有識者の活用(研究員として採用した者を除く) <input type="checkbox"/> 大学・非営利活動法人等と連携した研究の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 設置市の企画部署と連携した研究の実施 <input type="checkbox"/> 設置市の関係部署と連携した研究の実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他(民間コンサルティング会社等との共同調査研究方式の実施) <input type="checkbox"/> 特に行っていない
庶務体制	組織内で行っている。
市民参加、外部連携	

(3) 会計

会計規模※人件費・間接費(オフィス賃借料、水道光熱費等)は含まない		
2017年度予算	48,397千円	
2016年度決算	46,786千円	
2015年度決算	46,374千円	
自治体の内部組織以外の団体の場合の事業活動収入の主な内訳(多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	基本財産運用収入
	2位	特定財産運用収入
	3位	
自治体の内部組織の場合の事業活動収入の主な内訳(多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	
	2位	
	3位	

組織名	公益財団法人東京市町村自治調査会
-----	------------------

3 活動動向

(1) 活動実績

	調査研究名	調査研究の概要 (研究成果を閲覧できる機関(国会図書館等)やURLがある場合は末尾に記入)
2017年度に実施した調査研究	スポーツを活用した地域活性化に関する調査研究(ケーススタディ:立川市・国分寺市)	平成28年度に実施した「多摩・島しょ地域におけるスポーツを活用した地域活性化に関する調査研究～スポーツコミッションの機能に着目して～」の流れを踏まえ、異なる地域性を持つ立川市と国分寺市をモデル地域に選定した。複数年にわたる深掘りの調査研究を各ブロックの職員が参画して行うことで、スポーツを活用した継続的なまちづくりの可能性を提示した。 URL(http://www.tama-100.or.jp/category_list.php?frmCd=2-0-0-0-0)
	多文化共生に向けた地域における国際交流に関する調査研究	外国人住民に対するコミュニケーション支援や国際理解・異文化交流にとどまらず、外国人住民の生活や地域での活躍を支えるための多分野における横断的な取組と、これを着実に推進するための基盤づくりに必要な取組を明らかにし、提示することを目的に実施した。 URL(http://www.tama-100.or.jp/category_list.php?frmCd=2-0-0-0-0)
	多摩地域における都市農業の保全と振興に関する調査研究	都市農業・都市農地の位置づけが大きく転換された時機を捉え、今後自治体が農業振興や都市農地を活かしたまちづくりにどのような視座で取り組むべきか、その方向性を示した。実際の取組を進める上で参考となるよう、社会動向の整理・分析を踏まえ、取組の方策事例を提示した。 URL(http://www.tama-100.or.jp/category_list.php?frmCd=2-0-0-0-0)
	多摩・島しょ地域における新地方公会計の利活用に関する調査研究	新地方公会計を「作って見せる」だけでなく、「利活用する」ための方法論を提示するとともに、多摩・島しょ地域の自治体が利活用に際して参考となる事例等をケーススタディとして示し、適切な自治体経営、ひいては将来のまちづくりにつながる政策の提言を行った。 URL(http://www.tama-100.or.jp/category_list.php?frmCd=2-0-0-0-0)
	多様化する働き方を踏まえた職場づくりに関する調査研究	多様な働き方の実現は、女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進に加え、労働力不足解消や生産性向上に向けて、様々な制約のある人も働くことのできる環境を整備するという観点から求められている。そこで、本調査研究は多摩・島しょの市町村が多様な働き方を進めるうえでの課題等を明らかにし、実際に取組を進めるうえで参考になることを目的に実施した。 URL(http://www.tama-100.or.jp/category_list.php?frmCd=2-0-0-0-0)
	かゆいところに手が届く！ 多摩・島しょ自治体お役立ち情報	多摩・島しょ地域自治体からの調査要望を踏まえつつ、調査会でテーマを選定して調査を行い、機関紙「ニュースレター」に年3回掲載している。 URL(http://www.tama-100.or.jp/category_list.php?frmCd=2-0-0-0-0)
	その他調査(毎年度調査)	・多摩地域ごみ実態調査 ・多摩地域データブック ・市町村税制参考資料 ・市町村財政力分析指標 URL(http://www.tama-100.or.jp/category_list.php?frmCd=2-0-0-0-0)
定期刊行物	「What's New?」(月1冊発刊)、「自治調査会ニュース・レター」(2013年～)	

組織名	公益財団法人東京市町村自治調査会
-----	------------------

(2) 活動のマネジメント状況	
ア テーマ決定 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 設置市からの要請 <input checked="" type="checkbox"/> 外部有識者等からの助言・示唆 <input type="checkbox"/> 貴団体・組織で、設置市の総合計画等に明記された重要課題から選択 <input checked="" type="checkbox"/> 貴団体・組織で自ら発案 <input type="checkbox"/> その他
イ 情報発信 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 設置市の議員や幹部職員に、報告や提言を行う <input checked="" type="checkbox"/> 設置市の関係部署に、報告や提言を行う <input checked="" type="checkbox"/> 設置市の庁内の広範囲に、成果物を配布する <input type="checkbox"/> 報告会を実施する <input checked="" type="checkbox"/> 日常的活動を、HP・メールマガジン・ニューズレター等で周知する <input checked="" type="checkbox"/> その他(設置市町村職員を対象とした調査研究発表フォーラム等を開催する) <input type="checkbox"/> 特に行っていない
ウ 活動の評価とその反映 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 設置市の行政評価制度により評価を受けている <input type="checkbox"/> 運営委員会等、貴団体・組織の運営に関わる機関から評価を受けている <input checked="" type="checkbox"/> 外部有識者から評価を受けている <input checked="" type="checkbox"/> 報告会・アンケート等の機会を設けて、評価を受けている <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 特にそういう機会はない

4 特記事項

研究員の業務分担	<p>○調査研究は、原則として1テーマ2～3名体制とし、1名当たり2～3テーマを担当する。</p> <p>○調査研究テーマの進行管理は、調査部長及び主任研究員が担当する。</p>
研究員の専門性育成の手立て	<p>○民間のコンサルティング会社と共同で調査研究を行うことにより、調査研究に関するノウハウや研究テーマに関する知見を得る。</p> <p>○現在担当しているテーマはもとより、次年度以降のテーマ選定にも役立たせるよう、外部で行われるシンポジウムや研修に積極的に参加している。</p>
研究員のキャリアパス等	<p>東京都副市長会議において決定された職員派遣計画に基づき、派遣する市及び人数について、年度別に定められている。</p>
その他	